

令和7年度
「運営に関する計画」



「最終反省」

大阪市立蒲生中学校

令和7年2月

大阪府立 蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

安心安全の城東区との連携事業 SSR (スクールサポートルーム) の活用により、不登校状況が改善した生徒の比率は増加している (一昨年度 37%→昨年度 50%) ももの大阪府が掲げる目標には達していない。関係諸機関と連携しながら少しでも目標に近づきたい。また、毎年不登校生徒は増加傾向にあり、SSR のさらなる活用と不登校へ繋がる小さなサインを見逃さない体制作りと教職員の意識の向上が重要である。

学力面において、各学年ともチャレンジテストの全教科平均では大阪府・大阪市を上回っているが、下回る教科もある。そのため、教科ごとに結果を分析し、改善できるよう学力向上支援チーム事業と校内授業研究および授業アンケートを連動させ、教員の授業力向上および生徒の学力向上に取り組んでいく。ICT 機器は使用頻度が増加しているものの活用率が 80% に満たない日が多く活用方法の工夫と意識の向上が必要である。

体力面において昨年度はほとんどの種目において全国平均を上回った。校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合は 60% と高く、このことが全国平均を上回る原因と考える。今後もスポーツが好きな生徒の育成に励みたい。

環境面では差年度と同様、教職員のワークバランスと ICT 機器の使用頻度の増加と効果的な活用方法の工夫を目標とする。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

[大阪府共通目標]

○令和7年度の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を 65% 以上にさせる。(昨年度 50%)

○令和7年度の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95% 以上にする。(昨年度 95.6% で達成)

[学校目標]

○令和7年度の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95% 以上にする。(昨年度 96.8% で達成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

[大阪府共通目標]

○令和7年度の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を 50% 以上にする。(昨年度 41%)

○令和7年度の校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 60% 以上にする。(昨年度 60.2% で達成)

【学校目標】

○令和7年度の大阪府中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比をいずれの学年も1.03以上にする。

昨年度 国語 1年 1.05 2年 1.01 3年 1.02

数学 1年 1.14 2年 1.06 3年 1.07

【学びを支える教育環境の充実】

【大阪市共通目標】

○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT活用が適さないに数を除く)(昨年度1.8%)

【学校目標】

○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度94%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を65%以上にさせる。(昨年度50%)

○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度95.6%)

【学校目標】

○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度96.8%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を昨年度より高くする。(昨年度46.2%)

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を55%以上にする。(昨年度53.5%)

【学校目標】

○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)(昨年度1.8%)

[学校目標]

○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。(昨年度94%)

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を45%以上にさせる。(昨年度37.1%)</p> <p>○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度83.5%)</p> <p>○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度92.5%)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>登校支援対策委員会で情報共有し、不登校傾向にある生徒が不登校にならないようSSRやフリースクールなど関係機関と連携して取り組む。(生活指導部)</p> <p>指標 登校支援対策委員会を年11回以上実施し、心の天気を週1回以上活用する。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>学年の取り組みを通じて、自己肯定感を高めることで、人の役に立ちたいと感じる生徒の育成に取り組む。(各学年)</p> <p>指標 1年生は職業講話、2年生は職業体験、3年生は進路講話、それぞれ実施し、また自己肯定感を高める取り組みを各学年で実施する。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校全体でいじめ防止と早期発見に取り組む。また、いじめが疑われる場合は、迅速かつ適切にこれに対処し、さらにその再発防止に取り組む。(生活指導部)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内生徒指導研修会・連絡会を毎月実施する。 ・毎学期いじめアンケートと教育相談週間を実施し、生徒との信頼関係を構築と早期発見、早期対処に取り組む。 	B
<p>取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>校内のインクルーシブ教育の充実を図るため、通級への移行も含めた支援体制を確立する。(特別支援担当)</p> <p>指標</p> <p>障がいのある生徒一人一人に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、その計画に基づいて効果的な指導や適切な支援を行う。</p> <p>インクルーシブ教育研修会、連絡会を毎月実施し、特別支援在籍の生徒の情報共有を徹底する。</p>	B
<p>取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年に1回、外部機関によるスマホの使い方などに関する実施し、実際に起きている事案をもとに、スマホの適切な使い方を指導について取り組む。(生活指導部)</p> <p>指標 生徒会を中心に学校スマホルールの運用に取り組む。</p>	B

<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳の年間指導計画を作成し、授業時数の確保に取り組み、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。(道徳教育推進委員会)</p>	B
<p>指標 道徳の授業時数を、年 35 時間確保する。 道徳の公開授業を実施し、道徳教育の授業実践に取り組む。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

・登校支援対策委員会を毎月実施し、支援が必要な生徒の情報交換や支援の手だてを話し合うことができた。また、SSR やフリースクール等の外部機関と連携して対策にあたることができた。

・心の天気を活用し、生徒の様子把握や教育相談等に役立てた。

取組内容②

1年生：キャリア教育を多く実施することで、自己肯定感を高め、現在と将来の自分について考えることができ、次年度の職場体験につなげることができた。

2年生：1学期に職場体験学習を実施し、それぞれの職業観の幅を広げ、将来の進路選択に繋ぐことができた。3年生でも、自らが進路選択できるように引き続き、多くの事に取り組んでいきたい。

3年生：高校の先生に講話をしていただき、自分の進路選択の幅を広げることができた。また、たくさんの行事を通して、学年内での自分の役割を見つけ、みんなのために動く生徒が多くなった。

取組内容③いじめアンケートと教育相談を行い、必要に応じた対応を早期に取ることができた。

取組内容④インクルーシブ教育推進委員会で情報共有を行い、生徒一人ひとりのニーズに応じた対応に努めている。

取組内容⑤スマホの取り扱いについて、外部講師を呼んで授業を行った。

取組内容⑥年間35時間の授業を確保できた。

次年度への改善点

取組内容①

次年度も登校支援対策委員会を毎月実施して、生徒一人ひとりに応じた手立てについて確認し、SSR やフリースクール等の外部機関と連携して対策にあたり、心の天気を活用を推進して、生徒の様子把握や教育相談等に役立て。

取組内容②

1年生：次年度も自己肯定感を高める学年の取り組みや職場体験学習を実践していく。

2年生：行事が多い中でも、次年度は行事を振り返るなど余裕をもって取り組んでいく。

3年生：来年度以降もさらに実行委員等を立ち上げ、生徒主体の取り組みを実施する。

取組内容③早期発見・対応できるよう、生徒の心の変容を注視し、生徒との信頼関係を構築する。

取組内容④インクルーシブ教育推進委員会を開催できない月もあったが、情報共有は行えた。可能な限り、月一回の開催を次年度は行いたい。

取組内容⑤スマホの使い方やSNSの関わり方について、引き続き指導していく。

取組内容⑥引き続き年間35時間の授業を確保して授業内容を研鑽していく。

○令和7年度の校内調査において、不登校生徒の改善の割合は12月現在34%となり、3月末までに目標を達成させる。

○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は96%で目標を達成できた。

○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は96.2%で目標を達成できた。

大阪市立蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を50%以上にする。 (昨年度41%)</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を55%以上にする。(昨年度60.2%で達成しているが継続)</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 毎時間の授業のめあてを明確にし、校内研修を通じて授業力の向上をはかる。 (教務部)</p>	C
<p>指標 授業アンケートの「授業の進め方は丁寧でわかりやすかったか」に対する学校の全体平均値を4.6以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 校内公開授業の充実、相互に研修を深めることによって、より活発に話し合う活動を通じて自分の考えを深め、広げて、誰一人取り残さない学力の向上を目途に「主体的・対話的で深い学び」を推進する。 (教務部)</p>	A
<p>指標：学校教職員全体で公開授業を実施し、年間3期に分けて研究協議を通して授業力向上に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体育の授業で補強運動(毎時間)を実施し、多くの種目を年間通して取り組むことによって健やかな体の育成に取り組む。(保健体育科)</p>	A
<p>指標 全学年、1学期に新体力テストを実施し、全8項目のうち、4項目以上の記録が大阪市の平均を上回るようにする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 健やかな体の育成に必要な運動、睡眠、食事の大切さについて食育等を通じて、基本的な生活習慣の定着に取り組む。(健康教育部)</p>	A
<p>指標 保健だより、食育通信を毎月発行する。 保健委員会で校内、手洗い場の石けんや生理用品の設置など衛生活化に取り組む。 文化食育委員会で、食育掲示板を毎月更新し、生徒の食育意識を高める。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①（ 教務部 ）

・毎時間の授業の目当てを明確にして、授業に取り組んでいたが、授業アンケートの「授業の進め方は丁寧でわかりやすかったか」に対する学校の全体平均値を 4.3 となり、僅差で指標より高くすることはできなかった。（指標 4.6）

取組内容②（ 教務部 ）

・相互授業参観を 3 度、研究協議も 2 度実施し、授業力向上に取り組むことができた。

取組内容③

・全学年、1 学期に新体力テストを実施した。男女とも目標を達成することができた。

取組内容④（ 健康教育部 ）

・保健日より、食育通信を毎月発行することができた。保健委員会で校内、手洗い場の石けんの補充や生理用品の設置など衛生美化を実施した。

・文化食育委員会で、毎月食育掲示板に生徒が考えたクイズや作成した新聞等を掲示し、生徒の食育意識を高めることに努めた。

次年度への改善点

取組内容①（ 教務部 ）

・今年度の指標については残念ながら僅差で達成できなかったため、次年度は今一度、全教科において毎時間の授業の目当てをより明確にして生徒たちが更に積極的に授業に取り組めるように創意工夫が必要であり、今年度の数値を超えることを目標にしていきたい。

取組内容②（ 教務部 ）

・次年度も相互授業参観や研究協議を実施し、また質の向上を意識しながら引き続き授業力向上に取り組んでいきたい。

取組内容③

・次年度も引き続き、5 種目が大阪市平均を超えるよう取り組んでいく。

取組内容④（ 健康教育部 ）

・次年度も各取り組みを生徒主体で取り組んでいきたい。

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を 41.4% で目標を達成できなかった。

○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 55.4% で目標を達成できたが、昨年度よりも割合が下がったため、次年度は向上できるよう取り組む。

○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較した結果、3 年生は国語が 0.021、数学が 0.0057 でどちらも向上させることはできたが、目標値までの向上させることはできなかった。各教科ともに課題を確認し、次年度は達成できるよう取り組んでいく。1・2 年生は 2 月末以降に返却される予定である。

(様式 2)

大阪市立蒲生中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○授業日において、生徒の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)(昨年度 1.8%) ○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100%にする。(昨年度 94%)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育DX(推進)】 学習者用端末等の ICT 機器を活用し、生徒の情報活用能力を向上する。 (ICT 教育推進委員会)	B
指標 学習者用端末を生徒に毎日 1 回以上は活用できるよう取り組む。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度 94%)。	B
指標 学校閉庁日を年間 7 日以上設定し、教員の年次休暇取得しやすい環境を構築する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容① 生徒に対して「心の天気」の入力の啓発を行った結果、端末の活用率は去年より大幅に向上させることができ、80%以上活用した日は、全体の 12 月時点で 67.2%となり、大阪市の目標も達成できている。
取組内容② 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合は、2 月 1 日時点で 95%となり、3 月までに 100%となるよう取り組む。
次年度への改善点
取組内容①ICT を活用した授業においては、まだまだできていない教員も多く課題がある。引き続き、心の天気の入力の啓発を行い、生徒が日常的・習慣的に入力できるように取り組みを進めていく。 取組内容②年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合は向上させることはできた。来年度も引き続き、大阪市の働き方改革に取り組んでいく。

学校アンケート(生徒)集計結果 (令和7年度 1月)

設問	割合[%]				肯定的回答[%]
	①	②	③	④	①+②
1. 学校へ行くのが楽しい。	46.3%	41.2%	9.1%	3.4%	87.5%
2. 授業は集中できる雰囲気の中で受けることができている。	34.3%	53.5%	10.3%	1.8%	87.8%
3. 授業での学習内容がわかる。	43.7%	48.6%	7.4%	0.2%	92.4%
4. 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	41.4%	49.2%	8.3%	1.1%	90.6%
5. 学校ではあいさつができている。	65.7%	32.8%	1.3%	0.2%	98.5%
6. 学校では時間を守り行動できている。	68.6%	30.5%	0.7%	0.2%	99.1%
7. 学校のきまりや規則を守っている。	75.9%	23.2%	0.9%	0.0%	99.1%
8. いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	84.8%	12.7%	1.6%	0.9%	97.5%
9. 生徒がルール違反や間違っした行動をしたときには真剣にしかってくれる先生がいる。	78.4%	20.1%	0.9%	0.5%	98.5%
10. 先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる。	73.9%	22.3%	2.9%	0.9%	96.2%
11. 体育大会、文化発表会、宿泊行事などの学校行事は楽しみである。	73.0%	22.5%	2.9%	1.6%	95.5%
12. 部活動には積極的に取り組んでいる。	69.9%	16.7%	4.4%	9.1%	86.6%
13. 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。	55.4%	26.1%	10.5%	8.0%	81.5%
14. 自分には良いところがあると思う。	39.6%	44.6%	12.2%	3.6%	84.2%
15. 将来の進路や生き方について、考える機会がよくある。	42.3%	39.0%	15.4%	3.3%	81.3%
16. 家の人に学校での様子を話し、もらったプリントは必ず渡している。	39.2%	40.3%	18.3%	2.2%	79.5%
17. 家で学校の授業の復習をしている。	24.0%	35.0%	27.2%	13.8%	59.0%
18. 学校では掃除をきちんとおこない、校内美化に努めている。	63.9%	31.9%	3.4%	0.7%	95.8%
19. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	72.6%	23.4%	3.1%	0.9%	96.0%

学校アンケート(保護者)集計結果 (令和7年度 2月)

設問	割合[%]				肯定的回答[%]
	①	②	③	④	①+②
1. 子供は学校に行くのを楽しみにしている。	33.6%	50.9%	12.8%	2.7%	84.5%
2. 学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	33.6%	56.6%	8.4%	1.3%	90.3%
3. 学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	31.9%	59.3%	7.5%	1.3%	91.2%
4. 学校の教室や廊下などは、掃除がいきとどき、きれいである。	34.5%	52.7%	11.5%	1.3%	87.2%
5. 学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導している。	43.8%	54.4%	1.3%	0.4%	98.2%
6. 学校は、子どもの間違っただ行動には厳しく指導してくれる。	48.0%	45.8%	5.3%	0.9%	93.8%
7. 学校の生活指導方針に共感できる。	28.8%	55.3%	13.3%	2.7%	84.1%
8. 子供は、体育大会、文化発表会などの学校行事に積極的に参加している。	68.6%	25.7%	4.4%	1.3%	94.2%
9. 学校ホームページや通信、学校だより等を読んでいる。	32.7%	52.2%	12.8%	2.2%	85.0%
10. 子どものことについて先生に気軽に相談できる。	37.6%	45.1%	15.5%	1.8%	82.7%
11. 子どもは授業がわかりやすいといっている。	19.5%	58.0%	18.6%	4.0%	77.4%
12. 毎朝、子どもの朝食を用意している。	80.1%	14.6%	4.0%	1.3%	94.7%
13. 子どもは、あいさをよくするようになった。	40.3%	45.6%	11.9%	2.2%	85.8%
14. 子どもの家庭での学習時間は1時間以上である。	24.8%	34.1%	26.5%	14.6%	58.8%
15. 子どもは規則正しい生活(早寝、早起きなど)ができる。	28.8%	42.5%	23.9%	4.9%	71.2%